

奇跡の一本松

大津波をのりこえて

なかだえり／絵・文 汐文社 2011 (Eキセ)

長い歴史の中、幾度もの震災から人々を守ってきた陸前高田市の松原。その中でたった1本残った一本松は「奇跡の1本松」と呼ばれ人々に希望を与え復興のシンボルとなった。

つなみ

—被災地の子どもたちの作文集—完全版

森 健／編 文藝春秋 2012 (369.31)

被災地の子どもたちの恐怖や悲しみ、その中でも何かを信じ、前向きに生きる様子を子どもたちがありのままの言葉で綴った作文集。

第43回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。

被災ママに学ぶ

小さな防災のアイデア40

アベ ナオミ／著 学研プラス 2017 (369.31)

一変した生活の中で何が起こる？だから何が必要？ まずは想像することから始めよう！イラストレーターである作者が、東日本大震災の被災体験をもとに、イラストでわかりやすく、毎日1つ無理なく備えを続けることができる防災のアイデアを紹介。

復興への道を開く

小泉千賀子／著

PHP 研究所 2021 (369.31)

震災から7年間にわたり取材を続けた著者が、前よりも良い町を作ると希望をもって、粘り強く頑張る東北の経営者の方々を紹介する中に、人間の生きる力を感じる作品。

地震に備えるマンションの防災マニュアル

東日本大震災の教訓から居住者・管理組合の対応を考える

千代崎 一夫／著 山下 千佳／著

住宅新報社 2016 (365.35)

東日本大震災の日、首都圏のマンションでもエレベーターが止まったり壁に亀裂入る等の被害が続出した。被災地マンションの実地調査を踏まえ、今後に備えるマンションの防災知識を紹介。

できることをしよう。

—ぼくらが震災後に考えたこと

糸井重一／著 ほぼ日刊イトイ新聞／著

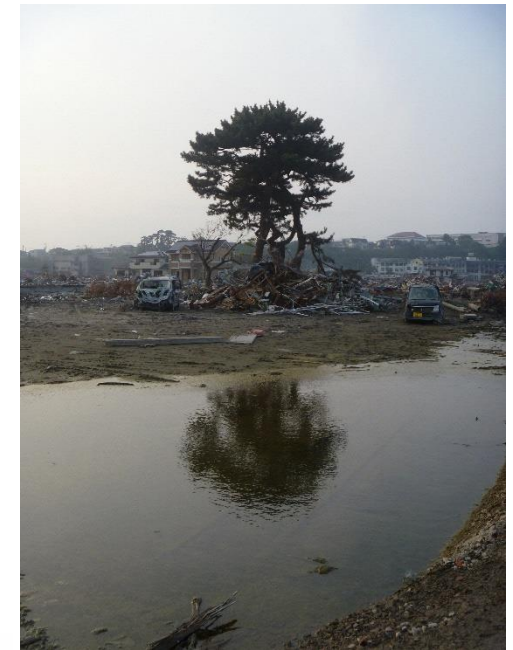
新潮社 2011 (369.31)

震災時、日本中の多くの人が被災地に心を寄せた。その中で、今自分にできることを考え、行動をおこした人達がいた。その始まりは小さな一歩でも、人々の共感と共に大きな力となり、何かを動かしていく…

多摩市立図書館

東日本大震災

あれから10年



ブックリスト